

2026(令和8)年度 入学試験問題

課題作文

論題

2026年2月4日実施
一般選抜(大学入学共通テスト利用型)【1期】

厚生労働省の調査によると、超高齢社会となっている本国において、65～84歳の年齢層で20本以上の歯を有する人の割合は、2005年（平成17年）は37%であったが、2022年（令和4年）には64%に増加した。一方、同じ年齢層でムシ歯を有する人の割合は、2005年で79%であったが、2022年には93%となった¹⁾。

この2項目における2005年から2022年までの変化を踏まえ、これからの歯科医療の在り方について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

参照：¹⁾厚生労働省　歯科疾患実態調査（平成17年、令和4年）